

第 55 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 3 年 9 月 28 日（火）午後 5 時 15 分から午後 5 時 30 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、山下副知事、古川副知事、鈴木副知事、企画理事兼商工労働観光部長、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、京都府議会事務局長、教育長、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局長、丹後広域振興局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

- ・京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催します。
- ・本日は、先ほど開催された政府対策本部の決定を踏まえ、今後の対応について協議いただくこととしております。
- ・それでは西脇知事に会議の進行をお願いします。

【知 事】

- ・まずは、この間、昼夜を分かたず、医療現場の第一線で御奮闘いただいております医療従事者の皆様に、心から感謝を申し上げます。特に、感染拡大で非常に厳しい状況の中、御努力をいただきました。ありがとうございました。
- ・また、緊急事態宣言下ということで、府民、事業者の皆様には、外出・往来の自粛、飲食店等における営業時間短縮等、大きな御負担をおかけする中で、御協力を賜りました。感謝を申し上げます。
- ・京都府では、8月26日に新規感染者数が601人と、過去最多になりました。病床使用率も8月30日には82.7%まで上昇し、医療現場からは、災害級の危機に直面しているという非常に切実な声を伺ったところです。
- ・その後、皆様の御協力で、新規感染者数が減り、病床使用率、高度重症病床使用率も減少しています。
- ・本日の京都府の新規感染者数は51人、7日間平均は55.86人、前週比が0.55倍です。
- ・ただ、感染者がいるということは、当然、コロナウイルスが市中にいることを意味します。引き続きの感染防止対策が必要です。
- ・政府対策本部で、京都府を含む19の都道府県において、緊急事態宣言の解除が決定されました。本日はそうした状況を踏まえ、今後の対応について議論したいと思っています。
- ・まずは、最近の感染状況等について、健康福祉部長から御報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料1に基づき報告

【知 事】

・続きまして、感染リスクを低減するための取組について、危機管理監から、事務局案の説明をお願いします。

【危機管理監】

※資料 2 に基づき説明

【知 事】

・続きまして、医療提供体制の拡充、新型コロナワクチン接種の推進について、健康福祉部長から御説明をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 3、4 に基づき説明

【知 事】

・ここまでの説明について、専門家会議の松井議長から御助言をよろしくをお願いします。

【専門家会議議長】

・感染者数が減少している状況です。これは、府民の皆様の適切な感染症対策の積み重ねの結果と評価できると思います。

・新規感染者数は 50 名以上と、まだ多い状況ではありますが、この間ワクチン接種が進み、重症化する症例が極めて減少しています。

・また、中和抗体薬については、リスクのある人に対して、適切に使用する体制が整っています。

・医療の逼迫を防ぐという感染対策の目的から判断して、緊急事態宣言の解除が妥当な状況にあると考えています。

・一方で、ワクチンを打っていても感染することが明らかになっています。また、リスクのある人は重症化の可能性があります。今後、ワクチン接種を着実に進めていくこと、重症化予防のための中和抗体薬を適切に使用できる体制を維持し、安全に進めていくことが必要です。

・今回、措置が緩和されますので、これからは、府民の皆様、一人ひとりの感染対策が大変重要になります。

・決して、新しいことをお願いするわけではありません。リバウンドを繰り返さないために、これまでどおりの感染対策の継続を一層お願いします。以上です。

【知 事】

・緊急事態措置から新しいフェーズに入っていきます。一人ひとりの感染防止対策が重要です。これについて、粘り強くお願いしていくことが必要です。また、ウィズコロナ社会においては、しばらくお願いを続ける必要があると痛感しています。今後とも頑張っていきたいと思っています。

・次に、京都市の三科危機管理監から、御意見をよろしくをお願いします。

【京都市危機管理監】

- ・緊急事態宣言が解除される段階まで至りました。改めて事業者、府民、市民の皆様へ感謝を申し上げます。
- ・京都府の南部エリアでは引き続き 3 週間の措置が実施されます。リバウンドを抑制し、一定の制限下で慎重に感染状況を見守っていく観点から、非常に大事であり、妥当な取組だと思います。
- ・引き続き、事業者、市民の皆様への御理解と御協力をしっかりと訴えていきたいと思っております。
- ・また、療養者については、減少傾向が続いているものの、まだ自宅療養を含む療養者の方が多数おられます。
- ・抗体カクテル療法の話がありましたが、我々としても経過観察をしっかりと行い、重症化リスクのある方を抗体カクテル療法へ繋ぐ等、療養者に寄り添った対応を、引き続き府市連携で行っていきたく思っています。よろしくお願いいたします。

【知 事】

- ・感染者数は減っていますが、この 3 週間の感染状況の推移を非常に慎重に見極めないといけません。そのための 3 週間の措置であることを御理解いただくことが必要です。
- ・特に、京都市域は、引き続き連携して取り組む必要があると思っておりますので、よろしくお願いいたします。
- ・その他に、御意見等がなければ、事務局案によって、感染リスクを低減するための取組を決定したいと思っております。
- ・その他に、各部局からの報告事項がなければ、本日の会議の総括を申し上げます。
- ・まずは、9 月末をもって、緊急事態宣言が解除されます。これは、府民、事業者の皆様への御協力のおかげだと思います。また、医療現場が逼迫する中で、病床の確保をはじめとする体制の整備、医療現場での御奮闘についても、改めて感謝を申し上げます。
- ・感染者は一定数います。コロナウイルスがまだ市中に存在していることを十分認識し、今後の体制を整えていく必要があると思っております。そのために、2 点申し上げたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
- ・1 点目は、本日決定した感染リスクを低減するための取組で、特に飲食店の皆様には、引き続きの御負担をおかけすると思っております。非常に丁寧な御説明等をお願いしたいと思っております。
- ・また、この 3 週間に、どういう感染状況になるかも、慎重に見極めていく必要があります。取組について、府民、市民、事業者の皆様、市町村、関係団体に丁寧に御説明し、御理解を賜るよう、よろしくお願いいたします。
- ・2 点目は、今後の話にもなりますが、第 5 波では、非常に感染力の強いデルタ株を経験しました。なんとか乗り越えたわけですが、第 5 波での対応を振り返り、課題を抽出するとともに、第 6 波の備えについて、例えば、兆候をどう捉えるかや、医療提供体制の整備について何を準備しておくのか等、様々な論点があると思っております。それについて、検討の着手をしていただきたいと思います。
- ・このままコロナがなくなることはないと思っております。特に、これから冬に向けては、非常にたくさん

の専門家が心配しておられます。

・いずれにしても、引き続き緊張感を持って対応していただくよう、お願いします。私からは以上です。

【危機管理監】

- ・関係の部局長におかれましては、先ほどの指示事項を踏まえ、万全の取組をお願いします。
- ・松井議長、三科危機管理監におかれましては、お忙しいところ、御出席をいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・以上をもって、対策本部会議を終了いたします。